

社協だより



～ ありがとう!ご近所サミット in tiiki～

“今こそ できることを・・・”

地域につくる自分の居場所

「人生100年時代」をどう生きるか

少子高齢化や単身世帯の増加など社会情勢が変化を続け、人と人とのつながりが職場や地域でも希薄化しつつある中、誰もが住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせる地域社会を目指していくためには、どうしたらよいのでしょうか。

住民主体のまちづくり

住民自ら主体的に地域福祉活動に取り組んでいくためには、住民が自分たちの地域の生活課題を共有し、解決のために協働することが必要となり、それが地域の活性化につながっていきます。

例えば、近隣の空地に空き缶やたばこの吸い殻などが不法投棄され、誰に注意することもできませんでした。「ゴミが増え続けるため、住民同士で集まって話し合い、交代で地域の「ゴミ拾いを行い、行政に相談の上、看板を設置し、地域の問題として改善に取り組むこと」にしました。」



自分たちのできることは、住民自らが動くことで人と人とのつながりの強化になり「住民主体のまちづくり」へ向けて、はじめの一步となっていくきます。

ふれあい・たすけあい ささえあいの 仕組みづくり

ふれあい・たすけあい・ささえあいの活動は、地域の中で住民が抱えるさまざまな困りごとに対して「誰かに助けてほしい」「助けてあげたい」という思いから生まれています。ひとりの「困った」をきっかけに住民同士が呼びかけあつて地域活動が始まり、人のつながりの輪を広めることができます。

また、そうした活動を行うことで地域における孤立や閉じこもりを防ぎ、生活課題の早期発見にもつながっていきます。



そこで、平成20年から行っている近所福祉ネットワーク活動では、普段の暮らしの中で、話し相手になったり、ちょっとした手助けをしたりと、気になる人に対して同じ地域に住む人が、福祉の視点を持って何気ない自然な見守りをしています。

また、ふれあい・いきいきサロンや赤羽根力フェのように自分の「できる」を活かして参加し、お互いの見守りの場を自分たちでつくっている活動もあります。

ふれあい・たすけあい・ささえあいの仕組みは、「見守る」「見守られる」という一方だけではなく双方の関係をつくり、自分たちのできることを地域住民が無理のない範囲で築いていくことが大切です。

ありがとう！

ご近所サミット

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、さまざまな地域行事やイベントが中止になる中、今こそ自分たちの地域を考えることができる人づくりを目的に「ありがとう！ご近所サミット」を10地区6会場で、感染対策を徹底して開催しています。

ご近所福祉クリエーターの酒井保さんに「つながりを切らない！壊さない！コロナに負けない地域づくりを考える」をテーマに講演いただいています。



ご近所福祉クリエーター酒井 保さん

健康寿命の長い地域は、人々とのつながりが強く、地域住民にそれぞれ役割があり、地域活動も活発だと言われています。そのつながりが薄れると活動性が低下し、筋力低下（サルコペニア）を発症しやすくなります。人とのつながりが、筋力にも影響するので

近所での集いやグランドゴルフ、散歩など日常的な娯楽も十分に社会性の維持に役立ち、それが筋肉量の維持や虚弱（フレイル）予防にもつながっていきます。

住民が地域でいつまでも暮らし続けていくためには、役割のある社会参加の場が大切で、これからの介護予防にも地域のつながりやささえあいを改めて考えていかなければなりません。

参加者からは「人とつながるということは、ぼつけえ大切なことなんじゃなあ」と今日の講座でようやくわかった。今のまま家で暮らしていくには、地域の人に誘われたら少々たいぎでもいろんな行事に行かんといけんのんじゃなあ。」との声がありました。



絵本読みグループ川のみなさん

また、絵本読みグループ川（市社協ボランティアセンター登録団体）に「未来ある子どもたちのために・・・ママ、わたし変わりたいの」と題し、不登校をテーマに人形劇を披露していただいています。人や社会との関わり方について、「これ」ということはなく、周囲の人が心の余裕を取り戻すことで、当事者の気持ちを楽にすることができるともいわれます。

人生100年時代

“人生100年時代”を生きる中でなにより重要なことは、支え手と受け手を分けるのではなく、あらゆる住民がささえあいながら生きがいを持って、自分らしく活躍できる地域共生社会の実現を目指していくことです。100年という長寿を見据えれば「誰と出会い、どのように暮らしていくかで、人生は決まります」つまり、人と人とのつながり「人財」が大きな要素になっていきます。

私たちは、地域社会の中で何らかの病気や障害を持っていたとしても、認知症になっても、誰もが役割があり出番があります。そんなまちづくりは、個々の生きがいを生みだしていくことにもなります。住民自らが地域の行事やボランティア活動などに参加しやすいような、巻き込み・巻き込まれやすい自分の居場所を自分の手でつくっていくという発想が大切なのではないでしょうか。



～井原市社会福祉協議会ボランティアセンター登録団体紹介～

『井原語りの会 わわわ』

インタビュー

①きっかけは？

立石憲利さん（岡山民俗学会）の『語りの学校』を修了した仲間たちが集まり、語りの活動を広めたいと設立しました。

②大切にしていることは？

会の名前のように

“和やかに輪になって話す”です。

③やりがい・楽しみは？

季節や年代に合わせて話を選び、子どもたちや地域の方に語り、「おもしろかった!」「もっと聞きたい!」と言われた時にやりがいを感じます。

設立：平成19年

会員数：13名

活動内容：小学校や幼稚園、サロンなどを訪問し、地域に伝わる民話や伝説を語っています。

活動日：随時・月1回定例会



ひろがる活動

介護・障害・保育の各分野の垣根を越えて、さまざまな福祉ニーズに対応する「地域における公益活動」を行う井原おもいやりネットワーク。

誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせる地域社会を目指し、支え合いの輪をひろげるフードバンク活動を推進しています。

つくりだそう!新しい食の循環! フードバンク活動を推進



もったいないからありがとうへ **SDGs**

国連が採択した持続可能な開発目標（SDGs）。環境を保全しつつ人々が豊かに暮らすため、解決すべき世界の社会問題として17の目標を掲げています。
無駄のない食の流通と一人一人の小さな取り組みをつみ重ね、地球を守るという大きな目標を成功させましょう!

未来への貢献

食品ロス削減! 食品を必要としている方の支援に!
17の目標のうち6つの目標を推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



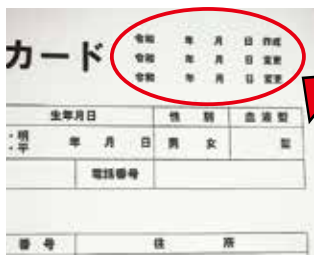


“もしも”の事態にそなえて…

はーとふるカプセルの再確認を!



「はーとふるカプセル」は、緊急時や災害時などに備え、筒状の容器の中に、緊急連絡先・かかりつけ医・服用しているお薬等を記入した「緊急医療情報カード」を入れて、冷蔵庫に保管して必要な情報を伝えるものです。あなたの大切な情報を年に一度は再確認をしましょう!



チェックリスト

- ① のマグネットは冷蔵庫の外側に貼ってありますか? ☐
- ② はーとふるカプセルは冷蔵庫のドアポケットに入っていますか? ☐
- ③ カードはカプセルの中に入っていますか? ☐
- ④ カードに記入もれ、変更箇所はありませんか? ☐
- ⑤ 緊急連絡先は複数記入されていますか? ☐
- ⑥ カードの右上に変更日を記入していますか? ☐
- ⑦ 保険証のコピー、最新の処方箋は入っていますか? など… ☐

※ ご希望の方は、地区社会福祉協議会長、または民生委員・児童委員までご連絡ください!



令和3年度 奉仕員養成講座 受講生募集!

手 話 (入門)	手 話 (基礎)	手話(ステップアップ)	要約筆記
5月～2月	4月～3月	5月～2月	7月～3月
第1・3土曜日	第2・4土曜日	第2・4土曜日	第2・4土曜日
13:30～15:30	13:30～15:30	10:00～11:30	9:00～12:00

障害者の自立と社会参加の促進を支援するため、受講生を募集します。
手話(ステップアップ)講座は、基礎講座の受講を修了し、奉仕員として登録されている方のみの募集になります。
受講申込書はホームページからもダウンロードできます。

受講料 無料!



応募締切: 【手話】3月26日(金) 【要約】6月25日(金)

ご寄附ありがとうございました

令和2年12月16日～令和3年2月15日（敬称略）

◆香典返し・満中陰志

亡母 西江原町 先納教文

亡父 上稲木町 川上 徹

亡父 西江原町 弓取錦也

亡母 大江町 谷本 忍

亡夫 東江原町 松島節子

亡夫 高屋町 木坂保子

亡夫 西江原町 西山みよ子

亡母 匿名

亡父 芳井町池谷 松本幸雄

亡母 芳井町吉井 佐藤宏道

亡夫 美星町三山 山本雅子

亡夫 美星町星田 稲葉綾子

亡母 美星町黒忠 三宅輝明

亡父 美星町黒忠 信末純彦

亡父 美星町大倉 三宅誠一

亡父 美星町大倉 東田 誠

亡母 美星町明治 伊達勝則

亡父 高知市 板橋潤子

亡母 美星町黒忠 藤井義信

◆見舞い返し

美星町三山 岸本安浩

◆一般寄附

芳井町築瀬 後月仏教会

◆指定寄附

やすらぎセンターへ

井原町 三宅成計

井原あゆみ園へ

井原市手をつなぐ親たちの会

◆福祉用具のお礼

芳井町宇戸川 小谷昌子

美星町大倉 東田 誠

笑顔あふれる地域へ！
～シトラスリボンプロジェクト～

コロナ禍で生まれた差別や偏見をなくそうという松山市発祥のプロジェクトです。

稲倉小学校6年生から井原市全体へ発信します！リボンの3つの輪は、地域♥家庭♥職場・学校♥を表現し、思いやりの輪を広げようというメッセージが込められています。

シトラスリボンで差別をなくす意志を示し、みんなが笑って暮らせる地域をつくりましょう！



小田川大学受講生募集

日 時：5月～翌年2月 毎月1回計10回
場 所：1～4回 井原放送（視聴学習）
5回～いばらサンサン交流館（予定）
対 象：市内在住の65歳以上の方
募集人数：160人 【先着順】
受 講 料：無 料 ※修学旅行実施の場合は負担有
申込期間：3月21日（日）午前9時～
募集人数になり次第受付終了
申 込 先：いばらサンサン交流館 ☎62-6100
休 館 日：月曜日・祝日

令和2年度 共同募金総額
8,434,022円

市民の皆さまからの温かい思いやりをいただき、心より感謝申し上げます。
来年度の「井原のまちをよくなるしくみ」に活用させていただきます。



～ご協力ありがとうございました～

ふれあい福祉相談センター

【予約先】井原市社会福祉協議会 ☎62-1484

相 談	内 容	日 時
ふれあい福祉相談	日常生活上の心配ごとや悩みごと等の相談	月～金曜日 8:30～17:00
法律相談 要予約	法律上の難しい問題の相談 1件30分以内 (財産・相続・金銭貸借・境界問題等) ～新型コロナウイルス感染の拡大状況により、中止する場合があります～	4/13 (火) 13:00～16:00 5/11 (火) 13:00～16:00 5/18 (火) 10:00～15:00
ひきこもり 専門相談 要予約	専門家によるひきこもりに関する相談	3/24 (水) 10:00～12:00 4/28 (水)
療育相談	就学前の子どもへの心配や悩みごとに関する相談	月～金曜日 8:30～17:00
介護相談	家庭介護や各種福祉サービスに関する相談	月～金曜日 8:30～17:00
金銭管理等 支援相談	福祉サービスの利用や日々のお金のやりとりの不安や悩みの相談	月～金曜日 8:30～17:00
福祉貸付相談	世帯の生活の安定を図るための資金貸付の相談	月～金曜日 8:30～17:00

※相談は無料で秘密は厳守します。

(祝日は除く)